

生徒・保護者アンケートの集計結果

11月に生徒全員を対象に実施し、ほぼ同じ項目で保護者の皆様にご協力をいただきました。アンケート（保護者回収率72%）の肯定的回答の集計結果と分析、今後の方針等についてお知らせします。

方針		質 問 事 項	生 徒	保 護 者	教 職 員
わかる・できる喜びにあふれる	1	各教科の授業はわかりやすく、学校の努力や改善の姿勢を感じる	91%	75%	100%
	2	話し合いやグループ活動等の他者と交流する学習活動に意欲的に取り組み、表現・発表する力や他人との意見の疎通を図る力が身についた	93%	78%	100%
	3	各教科の授業において、タブレット端末等の ICT 機器を活用することで楽しく学習に取り組めたり、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることが出来ている	87%	75%	94%
	4	毎日一時間以上、学校以外で学習する習慣が身についている	74%	60%	82%
思いやりがあふれる学校	5	時間を守ることや身だしなみを整えること等の決まりを守ることができている	92%	80%	95%
	6	家庭や学校、地域において時と場合に応じた挨拶ができている	91%	89%	100%
	7	先生たちは日頃から声掛けや面談を通じて、生徒理解に努めてくれている	95%	85%	100%
	8	先生方がいじめや不登校に対して適切に対応してくれているので、安心して学校生活を送ることが出来ている	97%	88%	100%
感動にあふれる学校	9	体育祭や合唱祭等の学校行事に、意欲的に取り組んでいる	97%	93%	100%
	10	学校生活の中で、「上級生の姿を見て下級生が学び、頑張る」という気持ちになる場面がある	79%	78%	89%
	11	避難訓練や防災体験を通じて、災害時に安全に行動しようという意識が高まっている	93%	75%	100%
	12	道徳の時間を通じて、道徳的な考え方や人権に対する意識が高まっている（議論する道徳への指導）	92%	74%	95%
信頼される学校	13	総合的な学習の時間等で行った進路学習は、将来の夢や目標について考えることに役立っている	86%	60%	100%
	14	学校だよりや学年だより、学校のホームページを見たり読んだりしている	55%	71%	88%
	15	体育祭や合唱祭の学校行事を参観した	/	94%	95%
	16	職場体験や四中スペシャル等の行事を通じた、地域とのふれあいや学びは、自分の成長に役立っている	89%	86%	88%
	17	四中に入学してよかったと思う（学校が楽しいと感じる） 四中に入学させて良かったと思う（お子さんの中学校生活は充実している） 四中で働くことにやりがいを感じ毎日充実した仕事ができている	96%	93%	88%

分析および今後に向けて

学校評価アンケートから見えてくるもの

目指す生徒像 自分を信じ、仲間を信じ、互いを認め合いながら成長する生徒

目指す学校像 「わかる・できる」「おもしろい」「感動」「信頼」この4つのキーワード

◇学校の授業はわかりやすい



生徒・保護者の皆様からの一番の学校への期待は「学力の向上」です。昨年度の保護者の皆様からの厳しい数値は真摯に受け止め、「授業が勝負」を第一に掲げ、取り組んでまいりました。その甲斐もあり、今年度は評価の数値が大幅に上昇しました。これも、教員たちの努力や取り組みを、保護者の皆様が認めてくれたあかしだと思い、これからもわかりやすい、力が付く授業を目指して取り組んでまいります。ICT 機器の普段の授業の中での活用も、着実に効果を上げ、生徒たちの家庭学習の変化に対応すべく、工夫を重ねています。そして充実した授業から培われる生徒との信頼関係を基盤とした生活指導が、四中を支えています。

◇安心できる学校生活

6月・11月・2月のふれあい月間だけでなく、様々な場面で人権やいじめについての授業を行ったり、教員間で話し合いや情報交換を重ねてまいりました。4月・11月の生徒理解週間においても時間を確保し、子どもたちとの対話を大切にしてきた一年でもありました。学校評価の結果で申し上げますと、NO.7「生徒理解に努めている」の問いに対して、生徒の回答が大幅にアップしました。毎日の声掛けや学活ノートへのコメント記入、そういった地道なことの積み重ねが、今の四中の落ち着いた生活の基盤になっています。これからも生徒の安心・安全な学校生活を第一に考え、生徒理解に努めてまいります。また、昨年新設した「若葉ルーム」ですが、来年度も今年度と同じコンセプトで開室してまいります。学校・クラスに入りにくい子どもたちの少しでも安心できる空間・場所を目指し、取り組んでいく所存です。

◇変わらぬ行事への情熱 それは、「感動にあふれる学校」の基礎となる

働き方改革を出発点とした行事の精選と、ねらいの見直しから始まった各行事の縮小、そして改善。体育祭・合唱祭の二大行事だけでなく、学年・生徒会行事についても大きく見直しと縮小・改善を行いました。限られた条件の中でしたが、3年生を中心としたその取り組みは素晴らしく、見事に四中の伝統を引き継ぎ、感動的なものになったと思います。しかし、学校評価 NO.10「上級生の姿を見て下級生が学び、頑張る」という項目において、生徒の数値が大きく下がりました。これは四中の伝統でもありました。しかし、行事の縮小と、部活動の減少（男子の運動部）で、上級生が活躍しているところを見る機会も減っているのも事実です。伝統を引き継いでいくためにも、来年度の大きな課題となりました。



◇日々の生活の中における生徒たちの学校生活満足度の高さ

この学校評価の中一番大切にしたい質問項目、それは【狛江四中に通ってよかったと思う】という項目です。今年度は生徒・保護者ともに肯定的回答が、90%を超えました。本来ならば100%が理想なのかもしれません。けれども、この90%を超える生徒と保護者の皆様が、学校を応援してくれ、引っ張ってってくれるものと信じています。また、毎年春と秋の2回行っているQUアンケートの結果ですが、学校生活満足群に属する生徒は76%と、昨年73%よりも3ポイントアップし、素晴らしい結果を残すことができ、狛江四中に通ってよかったという思いの裏付けとなりました。

来年度も、一人ひとりが認められ、活躍する場があり、楽しく安心で、学力が身につく四中を目指し、取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。

☆お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。